

## 第1次小諸市地域福祉活動計画の評価について

社協では、地域福祉を推進する団体として、「誰もがその人らしく安心して暮らせる地域社会」を地域住民と協働して創る」という基本理念に基づき、地域福祉の推進に取り組んでいます。

小諸市第1次小諸市地域福祉活動計画（以下、第1次計画）の策定においても、「小諸市総合計画」を最上位とする行政計画のさまざまな計画と整合性を図りながら、策定をいたしました。第1次計画では、「今ある支え合いを大切にし、更なる地域福祉の輪を広げます」という基本理念を掲げ、以下の4つの長期的な取り組み目標に取り組んできました。

また暮らしに身近な9つの相談事例を挙げ、住民も「私にできる支え合い」「私たちにできる支え合い」について考えるきっかけとしてきました。

### 【長期的な取り組み目標】

- ① 地域でのつながりを深め、顔の見える関係をつくりましょう
- ② 生きがいややりがいを通して人とのつながりを維持しましょう
- ③ 皆で支え合うために必要なことを考えましょう
- ④ 地域福祉の基盤を作りましょう

### 1 第1次小諸市地域福祉活動計画の評価について

第1次計画の成果や課題、評価を検証する中で本計画策定に向け、今後取り組みが必要なこととして挙げられたことは次の内容でした。

- (1) 今後も防災や介護予防、地区の支援などを通して、誰も孤立しない顔の見える関係づくりへの取り組みを継続していくこと
- (2) ボランティア活動や市民活動を盛り上げていけるよう、ボランティアセンターの機能強化やボランティアのスキルアップを図りながら、一人ひとりが生きがいや役割を持てる取り組みを継続していくこと
- (3) これまでの制度やサービスでは対応できない生活課題や複雑化かつ多様化している地域課題に対応するために地域のネットワークや各種相談窓口の連携や包括的な相談支援体制を構築していくこと
- (4) 福祉学習や生涯学習などさまざまな学びの場を通して福祉への理解を高め、地域福祉の担い手を育成、活躍できる取り組みを進めていくこと